

Z世代の「約9割」が結婚願望あり 4月の法改正から新成人は18歳から 恋愛婚活ラボ

㈱Parasol(東京都港区、傘男一郎社長)が運営する未婚男女のマーケティング研究機関「恋愛婚活ラボ」は、1月15日～23日の期間に、「Z世代」で、4月の法改正により「成人」となる「18歳-20歳の男女」331名を対象に、「恋愛・結婚に関する意識調査」を行い、結婚可能年齢が「18歳から」となるのに向けて、成人を迎える若者の恋愛・結婚に関する意識について、調査結果を発表した。

Z世代で、4月から成人の対象となる18-20歳の男女に「将来結婚をしたいですか?」という調査をしたところ、「約9割」が「結婚したい」と回答。Z世代の男女の大半は結婚願望があるようだ。結婚したい理由を尋ねると「心の安らぎのために、一緒に寄り添ってくれるパートナーが欲しい」「孤独は嫌だ」という回答が多くあり、経済的な理由よりも、心の充足を強く求めている。Z世代の男女は小さい頃からインターネットを利用して、さまざまな価値観に触れ、多様性を受け入れて育ってきている。その分、孤独感を強く感じやすく、孤独を回避し、癒しを求めて結婚したいというのが彼らの結婚願望の理由となっているようだ。

一方で「結婚したくない」と回答した約1割の男女に理由を尋ねると、「結婚の必要性を感じないから」との回答が半数を占めており、他にも「結婚することで自分の時間が奪われそうだから」との回答があった。目的意識が強く、意味のないこと(なさそうと感じること)には前向きになれないという、結婚にメリットを感じていない「魅力を見いだせない男女もいるようだ。また、Z世代はSNSが当たり前となっていることも理由と考える。多種多様なエンタメに触れ、一人で日々楽しんで生活することが可能であるため、趣味が多く自分の時間を大事にしたという気持ち強い人は結婚に魅力を感じていない要因にもなっているようだ。

厚生労働省「令和元年(2020年)人口動態統計月報年計(概数)の概況」によると、日本の平均初婚年齢は「男

性31歳、女性29歳」となっており、時代に合った希望年齢といえる。一方、25年前の1995年時点の平均結婚年齢(初婚年齢)「男性28.5歳、女性26.3歳」と比較すると晩婚化傾向にある。この「晩婚化傾向」は、「結婚ができない」ということではない。今や女性も男性と同様に社会人として働くことが当たり前になってきており、「専業主婦希望」の女性は減少傾向にある。また、男性からも結婚後も共働きを希望する人が増えており、「専業主婦希望」の女性は敬遠されることもある。女性も男性と同様に働くようになったことで、結婚・出産・育児前にしっかりと実力をつけてキャリアアップを図りたいと希望する人が増え、結婚希望年齢や実際の結婚年齢が上がり、晩婚化傾向になっていると考えられる。

Z世代の「出会いを探す場所」を調査したところ、男女ともにNo.1は「学校」だった。以降、「サークル」や「友達紹介」など、「オフラインの出会い」が挙がってきた。2022年現在、「オフラインの出会いの場」はコロナ禍において機会が減っている。地方から上京してきた大学1年生の男女で、「1年経ってもまだ一度も学校に行けていない」「未だに大学に友達がいらない」との回答もあった。「オフラインの場での出会い」が恋人探しのメインと考えているZ世代の18-20歳男女にとっては、厳しい状況になっており、「恋人は欲しいけれど現在は恋人がいらない」男女が多いという結果に直結している。

一方で、「出会いを探す場所」のランキングには、「マッチングアプリ」や「Twitter」、「Instagram」など、「SNS」なども挙がってきた。TwitterやInstagramなどのSNSでは、主にリアルな友達と繋がりがある異性を探して由と考える。多種多様なエンタメに触れ、一人で日々楽しんで生活することが可能であるため、「SNSでの出会い」は、男性よりも女性の方に人気がある。マッチングアプリの場合においては、女性は「年齢が若いこと」が強みの1つになることが多い。Z世代では女性がSNSを多く活用しているようだ。

HAPPY WOMAN基金に寄付 プラスチックを再利用したアクセサリー



品の良いカラーパレットで今の気分を上げてくれる、コーディネートを楽しむ「プラス」を提案するプラスチックから、「花とあなたが出会う場所」をコンセプトにしたフラワーデザインチームgui flower designを主宰する前田有紀さんとコラボレーションしたコレクション第3弾が2月1日

より登場した。植物のツタや葉を思わせるゆるやかな曲線のメタルから華やかに演出するデザイン。ころんと丸い実、スターフラワーやすみ草、シェル、パールを閉じ込めた。本物の花を使用しているからこそ生まれる柔らかな風合いが、顔周りを華やかに演出する。なお、イタリアでは3月8日の国際女性デーを「女性のための日」として、女性性にミモザの花を贈ることから、プラスチックから「花とあなたが出会う場所」をコンセプトにしたフラワーデザインチームgui flower designを主宰する前田有紀さんとコラボレーションしたコレクション第3弾が2月1日より登場した。



フランス発、アルティザナルジュエリー、BLANC IRIS (ブランイリス)はブランドがスタートして10年目となる今年、表参道にフラッグシップショップBLANC IRIS TOKYO(渋谷区神宮

アルティザナルジュエリー「BLANC IRIS」 表参道にフラッグシップショップ

前4-23-5)を2月2日にオープン。心躍る非日常的な空間でブランイリスの世界を体感できるフラッグシップショップでは、2022年SS新作をはじめ全コレクションの300以上のアイテムが揃う。

同ブランドは2012年にパリでスタートした、代表兼クリエイティブディレクターの荒木弘美氏とフランス人デザイナーのSophie Cluzelle(ソフィー・クルゼル)氏によるアルティザナルジュエリーブランド。

BLANC IRISとはフランス語で白を表すblanc(ブラン)とギリシャ神話の虹の化身、神々のメッセンジャーiris(イリス)を合わせた造語で純粋さと強さを伝え導くという意味がこめられている。

全てのプロダクトは熟練したイタリアの工房の職人の手により、ひとつずつ丁寧に形作られており、機械ではなし得ないブランイリスリジナルのフォルムを作り出している。ディテールにこだわり、妥協のない物作りへの姿勢は、ブランイリスのジュエリーを身に着けた時に、その圧倒的な存在感で体感することができる。

誤ると企業も社員も 大きなダメージ 増加するカスタマー・ハラスメント JJAの無料セミナーで解決

日本ジュエリー協会主催の無料セミナー「ジュエリー販売におけるカスタマー・ハラスメント対応術～理不尽なクレームで困らないために～」が、2月17日13時30分から、Zoomによるオンラインセミナーで開催される。

近年顧客からの理不尽なクレーム(カスタマー・ハラスメント)が多発。対応を誤ると企業も社員も大きなダメージを受け、離職率も増加する。講師は人材教育アシスト代表、クレームアドバ

CT スキャン使用
天女、花珠、鑑別書
日本真珠学術協会
TEL:03-3836-2507 FAX:03-3836-2689

イラスト chabico
路傍の
カナリア86

生活のささやかな楽しみ

自宅と店を往復しているだけの生活。を十数年も繰り返している。いやそれ以上かもしれないが、だからといって効果で風邪どころか体がボロボロして味気ないかというときさか違う。知的な楽しみはどこにでもところがある。一年を通してほぼ毎日朝起きると散歩をしてそれから風呂に入る。出勤はそのあとだが、真冬など湯冷めをして風邪をひきませんかと言われる。そんなことはあるはずがない。朝から昼へと気温は上昇するわけだから夜風呂に比べて湯冷めリスクは少ない。そう答えても大概怪訝な顔をされる。湯冷めはなぜ起こるかといえば、風呂上がりの湯滴をきちんと拭き取らな

いで急いで下着を身に着けるからである。その湯滴が体を冷やすのである。小児の場合が特にそうで風邪をひかせてはいけない一心で慌てて着せるからかえって体調を壊す。乾いたタオルで隅々まで水分を拭き取りその際体を強めにこすってやれば事実上の乾布摩擦の効果で風邪どころか体がボロボロして丈夫な子が育つのである。朝風呂、夜風呂関係なく、また子供だけに当てはまるわけではない。別段難しい話ではないが、常識にとらわれすぎると見えないものが見えなくなる。そこで水分を素早く吸収することに優れたバスタオルはいかなるメーカーのものかということいろいろと検索するのが面白い。バスタオル一枚にも問題意識を持つと世界はひろがるし、風邪をひかない真冬の過ごし方にも通じるのである。



国際女性デー 女性の生き方を考える多彩なプログラム 全国14都府県で同時開催

HAPPY WOMAN実行委員会が2017年から展開している『国際女性デー』HAPPY WOMAN FESTAも今年で6回目。2022年は全国14都府県での開催が決定した。国際女性デー表彰式やセミナーをはじめ、ラジオ番組、幸せの黄色い写真をSNS投稿する「HAPPY YELLOWキャンペーン」など、全国各地で多彩なプログラムを展開。「国際女性デー」を通じて、すべての人たちが幸せに生きられるジェン

ダー平等社会実現に向けて、学びの場、気づきの場を提供する。「女性のエンパワーメント推進と社会活性化」および「SDGs(持続可能な開発目標)推進」を目的としているHAPPY WOMAN実行委員会(事務局:一般社団法人

越境EC支援の(株)ジグザグ(東京都渋谷区、仲里一義社長)は、高島屋グループが運営する「高島屋オンラインストア」「タカシマヤファッションスクエア」の2サイトにおいて、JavaScript対応を実現するサービス『WorldShopping BIZ』を1月より提供開始している。「高島屋オンラインストア」「タカシマヤファッションスクエア」は、海外販売(越境EC)対応のパートナーとして、多言語対応、海外決済、海外配送を一通貫で行うジグザグの『WorldShopping BIZ』を採用。これにより、特別な開発や運営オペレーションの変更を一切伴わずに、世界125カ国に向けた海外販売対応が実

現している。(株)高島屋EC事業部営業推進担当 佐久間良枝氏は「コロナ禍において、訪日外国人によるリアル店舗のインバウンド需要が大きく落ち込み中、ECの重要性がさらに高まっています。現状高島屋オンラインストアでは海外からのご注文は日本国内届けに限られる中、本サービスの導入により、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で訪日することができない海外のお客様のニーズに 대응できます」とコメントしている。高島屋オンラインストアでは、店舗でウインドショッピングを楽しむ感覚でサイト内を楽しく回遊できるよう、衣食住のジャンルをまたいだライフスタイルの商品提案を強化するとともに、高島屋バイヤーが厳選した商品を豊富に取り揃えている。『WorldShopping BIZ』ではリビング・ホビー、ファッション、ベビー・キッズのジャンルを中心に展開中。

お店とお客様の橋渡しができる!!
販売員さんご紹介しします!
BICO・GHI株式会社
TEL:03-3409-6954
TEL:011-219-0758
TEL:06-6348-1020

三木成夫はその著「内臓とこころ」の最後のところで我々は太陽中心の生活をしているけれど月の引力も私たちの生活に陰に陽に影響している、それは無視できないほどのもので「生命記憶」なるものに繋がっていると指摘している。こうなると月のエネルギーに興味が多く。太陽暦と太陰暦、どっかで習ったが忘れていた。今では太陽暦がごく当たり前になっているから太陰暦というのは古臭い役に立たないものだと思いは月のことだ。早速「月のカレンダー」を購入して普通のカレンダーの横に並べてみる。この月のカレンダーにはいくつもの新しい発見がある。新月から新月前までが一月で一年は354日。今年の

元日が2月1日で今は睦月(1月)に当たり大晦日が来年1月23日になる。毎月月の満ち欠けが表示してあり大潮中潮小潮も記されている。今までは夜空など見上げたことはなかったのに最近よく見るようになった。学生時代の合宿で長野に行った時星が降るように輝いていた夜空の美しさを思い出した。月の引力は人の出産や死と関連付けられてはいるがそればかりではなく「生命記憶」というところで深く影響を受けているのではないかと言及されると、改めて自転公転を含め月について考えさせられるのである。スマホに指を滑らせると画面が拡大するように、ごく当たり前の生活に思考の知恵をいささかなりとも差し込んでみると新鮮な世界が現れてくる。取り柄とない凡庸な自分のひそかな楽しみである。

世界を変える1mm
薄さ1mmの光発電ムーブメント搭載。
Eco-Drive One
1mm movement
Amazing One
CITIZEN
BETTER STARTS NOW
AR5064-57E 495,000円 (税別価格 450,000円)
シチズン時計株式会社 https://citizen.jp